

1枚目 1/10 ご自宅へFax済

平成 21 年 11 月 4 日

森 一久先生
内藤奎爾先生
石田寛人先生

原子力システム研究懇話会二十年史「原子力開発の光と影を見つめて」
の編纂にあたり、ご寄稿のお願い

原子力システム研究懇話会

代表 近藤 次郎

編集委員会 田畑米穂（運営委員長）、山脇道夫、石井 保
宗像孝育（事務局）

拝啓 時下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて原子力システム研究懇話会は平成2年2月に発足以来、20年を迎えようとしています。これを機にこれまでの会の足跡をまとめるとともに、現在の活動内容を加えて、二十年史「原子力開発の光と影を見つめて」の編纂を企画しております。

本会の設立の趣旨につきましては「原子力システムニュース Vol. 1; No1」の巻頭に向坊先生が述べておられ（別紙ご参照）、活動はほぼこの理念に沿って進められてきましたが、二十年史編纂にあたり、是非先生のご寄稿をお願いしたいと存じます。

委員会としての希望内容は下記の通りですので、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

「懇話会設立の経緯」ご寄稿のお願い

記載内容 懇話会設立の経緯について、直接、間接にご存知のことをご開陳下さい。

なお、同欄に掲載予定の安先生の「原子力システムニュース Vol. 14. No. 4. 2004. 3」の記事をご参考下さい。

記載量 刷り上り数ページ（1ページ約1000字）以内を一応の目安にしておりますが、それを超えてお書きいただいても結構です。

原稿締切 平成21年12月末

原稿送付先 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-7-6 升本ビル4F

原子力システム研究懇話会 宗像孝育 宛

TEL: 03-3506-9071 FAX: 03-3506-9075

E-mail: munakata@jaif.or.jp

以 上

(別紙)

向坊 隆 先生の巻頭言

「原子力システムニュース Vol.1 No1 (平成2年10月) より」

原子力システム研究懇話会は大学の名誉教授を中心に、主として現役を退かれ、尚精力溢れる研究者、技術者を集めて原子力の諸問題を考えていくことを目的として結成されました。更に会の活動を会員に知らせたり、勉強の成果の発表の場所として茲に季刊のニュースが発行されることになりました。この懇話会では会員が随時集まって自由に意見を交換するとともに、外からの依頼を受けて調査研究をまとめたり、場合によっては意見をまとめて政府や業界に勧告したりすることも期待されています。長年原子力界で活躍された方々が、一応フリーな立場から原子力開発の問題点について発言されることも大切なことと思われます。懇話会の活動に大きな期待を寄せる次第であります。

原子力システム

ニュース



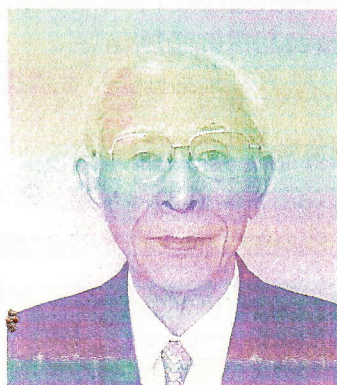
(カット：永島勝介)

原子力システム研究懇話会の 拾余年を回顧して

安 成 弘

原子力システム研究懇話会は、平成2年2月27日に、事務所の披露パーティが開かれ、故向坊隆先生から当懇話会設立のご挨拶がありました。したがって、この日を設立の日としています。設立から既に十年以上を経過しました。

この際、設立から、私が平成14年6月に運営委員長を辞めるまでを回顧することは、あながち無意味なことではないと思い、ここに一文を草する次第です。



設立当時について

設立に当たっては、向坊隆先生、日本原子力産業会議の森一久氏、科学技術庁の石田寛人氏、電力中央研究所の依田直氏など多くの方々のご協力、ご援助をいただきましたことに、深い謝意を表します。また、京都大学の菅原努先生からは、すで